

2024年1月31日
株式会社ユカリア

医療従事者向けベッドサイド情報端末『ユカリアタッチ』 東京都青梅市の「市立青梅総合医療センター」にて運用開始

株式会社ユカリア（本社：東京都千代田区、代表取締役：古川淳）が開発・販売している医療従事者向けベッドサイド情報端末『ユカリアタッチ』は、2023年11月1日より市立青梅総合医療センター（所在地：東京都青梅市、病院長：大友 建一郎）にて運用開始しました。



※画面はイメージです。実際の仕様と異なる場合がございます（詳しくはお問合せください）

『ユカリアタッチ』サービスサイト <https://et.eucalia.jp/>

市立青梅総合医療センター（全521床）は、救命救急センター、地域がん診療連携拠点病院、東京都産科連携病院等の指定を受けた、西多摩医療圏の高度急性期・急性期医療を担う基幹病院です。同院の新病院整備事業の1つである、新病院本館が11月1日より稼働を開始し、病棟における医療の質・安全の向上、業務の効率化への効果を期待されユカリアタッチが導入されました。

■『ユカリアタッチ』について

これまで、看護現場では、医師からの指示や医療・看護上必要な患者情報を床頭台に札や付箋、マグネット等を貼って医療者間で情報共有するケースが大半を占めていました。しかし、こうしたアナログな情報共有の在り方では、古い情報が伝わる、見落としが生じる、差替えの手間がかかるなど、看護師の運用負荷は勿論のこと、患者の状態変化や注意事項を確実・適切に共有出来ないという事態が慢性的に起こっています。

『ユカリアタッチ』の主要機能のひとつである「電子化ピクトグラム」は、患者の安静度や禁飲食、アレルギー情報や医療・看護上の個別注意事項などを分かりやすいイラスト記号として表示することで、医療従事者間の円滑な情報共有に役立っています。

また、「バイタルデータ入力・電子カルテ自動連携機能」では、NFC式*測定器（体温計や血圧計等）をユカリアタッチにかざすだけで電子カルテにバイタルサインが自動連携・登録されるため、データの未入力、誤入力、入力までのタイムラグ発生防止に繋がっています。

*NFC（Near Field Communication：非接触通信の国際規格）



電子化ピクトグラム表示



バイタルサイン
測定器連携

ユカリアがこれまで15年以上にわたり病院経営支援に取り組む中で、医療現場に存在する課題への理解を通じて『ユカリアタッチ』を開発しました。2017年2月に本格的に販売開始以来、2023年12月時点で累計18,000台以上、全国約70の病院に導入いただいています。

今後も『ユカリアタッチ』を通じて、医療・看護業務を支援し、看護現場の環境向上や働き方改革にも貢献してまいります。

【株式会社ユカリア】

ユカリアは、ビジョン「ヘルスケアの産業化」、ミッション「変革を通じて医療・介護のあるべき姿を実現する」のもと、医療機関や介護施設の「あるべき姿」を現場の皆さまと共に追求し、その変革に向けた経営の支援、デジタルテクノロジーを中心とするソリューションの提供を行っています。2022年5月9日付で、社名を株式会社キャピタルメディカから株式会社ユカリア（英語名：EUCALIA Inc.）へ変更しました。また、同日に本社所在地を千代田区へ移転しました。

所在地：東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング 19階
 事業内容：病院の経営支援・運営支援/医療周辺サービス事業/介護施設の運営
 資本金等：4,689百万円
 ホームページ：<https://eucalia.jp/>

◎本件に関する報道機関からのお問い合わせ

株式会社ユカリア コーポレートコミュニケーション担当 飯塚久美 電話：03-5501-2271（代表）